

株式会社リゲッタ

歩きやすさとデザインを 追求した靴を製造・販売

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



累計販売数108万足のドライビングローファー

主な事業内容

シューズ・サンダルの
企画開発・製造・販売

主な取引先(納入先)

卸売業者、商社、通信販売業者

主な製品

コンフォートシューズ、サンダル、
インソール(中敷き)

業務内容

**独自のフォルムで着地や
蹴り出しをサポート**

リゲッタは、シューズ・サンダルの企画・開発・製造・販売を手がける靴メーカー。「リゲッタ」をはじめ複数ブランドを展開しており、履き心地が良く、かつ歩きやすいサンダルや、パンプスが国内外で人気を集める。昭和43年に高本泰朗社長の父がサンダル製造のタカモトゴム工業所を創業。平成13年頃からオリジナル商品の開発に取り組み、平成17年に「リゲッタ」を発表した。また、歩行時の着地や蹴り出しがスムーズになるよう踵に丸みを持たせ、つま先は反りがったフォルムを採用した「リゲッタカヌー」は、大阪府が中小企業の創造的で優れた独自製品を認定する「大阪製ブランド」に認定されている。

強み 足を守ることを第一に 木型から開発

「リゲッタ」は、日本の伝統的な履き物である下駄の機能性に着目し、現代風にデザインをアレンジしたのが特徴。つま先が適度に反りがつっており、歩きやすいものとなっている。この反りがりは、もともとは足の不自由な人に向けた技術であり、足を強く曲げなくても推進力が

得られる。このような「この原理を利用して前に進むのは下駄の特徴にも共通する」と、高本社長は説明する。

また、「足を守ること」が靴の大切な役割と考え、木型を削り出す工程から商品開発を進めている。靴本体も指先の空間を確保したり、インソール(中敷き)と足裏が密着するよう面ファスナーやベルトなどを配置したりして機能性を損なわないデザインを採用している。

地域連携 挑戦を続ける 人たちとともに

商品の製造は、大阪市生野区内に集積する協力工場に依頼し、工程ごとに専門の職人が加工を担う。その職人たちの力が発揮されたのが、薄さと軽さを追求し、素材にFRP(繊維強化プラスチック)を採用したインソール「バイン」だ。FRPの立体加工が難しく、開発に5年を要した。靴の製造経験が浅いながらも、果敢に開発に取り組んだ職人たちの成果であり、「チャレンジし続ける人たちと、これからも一緒に仕事をしたい」と高本社長は力を込める。最近、新たに社内に靴製造に必要な設備を揃えた。「一足でも多くお客様へ届けるために」という思いからで、新たな挑戦や発信を始めようと様々なアイデアを練り始めている。

社長あいさつ



代表取締役
高本 泰朗さん

当社の靴を愛用される人だけではなく、製造や販売に携わるすべての人に楽しさを感じてほしいという思いで事業を展開しています。そんな私たちの思いは、「楽しく歩く人をふやす」という経営理念に込められています。これからも靴作りや経営、地域との連携など、様々なところで新たな挑戦を続けていきます。

主な保有設備

- 乾燥機 B.C.Mod, 409PS
ELETTROTECNICA B.C.製 1台
- 裁断機 DS905B-30T
セル・コーポレーション製 2台
- 圧着機 FS2-03-4
CKD VALVE製 1台
- カマト癖付け機 163 10196
SIGMA COSTRUZIONI MECCANICHE製 1台
- ミシン S-7100A-303
ブラザー工業製 5台

大阪
04

住 所／〒544-0012
大阪市生野区
箕西1-9-24
T E L／06-6755-2430
F A X／06-6752-9788
創 業／昭和43年3月
設 立／平成18年3月
資本金／300万円
従業員／104名



大阪市生野区の町全体で製造



バイン(インソール)

<https://www.regeta.co.jp/>

